

社会を明るく
太田小学校 六年 始澤 月渚
私は社会を明るくするため、犯罪や非行
のないうちとや、地域の力で立ち直りを支える
こととする。理由は、安全の暮らしのためや、
お互いに支え合う温かい地域を作ること。犯
罪や非行が起きにくい環境が生まれるから。
そして、その中で自分ができる身近なことは、相
談できる人を探したり、先輩や友人に話をき
くこと。地域を支えることかできると思いま
す。
まず、法務省のホームページによると、この
運動は犯罪や非行をなくすることだけでなく、
過ちを犯してしまったり、人が社会の中で孤立せ
ず、再び立ち直れるように支えることも目指し
ています。この紹介を聞いた「保護
司」というボランティアの人たちの活動を知
り、罪を犯した人が再び同じ過ちを繰り返し
てしまう背景には、
「誰も自分を認めてくれない」
という孤立や、社会から孤立があるケースが
多い。

多いそうだが、つまり、社会を明るくするところ
うのは特別な誰かが行う数り縮まりのことで
はなく、私たち一人ひとりが身近な人の孤立
に気づき手を差し伸べることも大切だと分かっ
た。
これは、犯罪や非行からの立ち直りに
も共通することではないだろうか。一度失敗
した人を社会から排除し、冷たい目に向け続
けただけではその人はますます追い詰められ
再び間違った道に進んでしまうかもしれな
い。
大切なのは、過ちを責め続けることではなく
二度と繰り返さないように寄り添い、もう一
度やり直せる居場所を地域の中に作るこ
のたとえ이었습니다。私の身近な場所
で、失敗して落ち込んでいる友達や一人で寂
しんでいる人はいたら、声をかけること
ならでき
る。
大丈夫だよ。
という一言や、いつも通りに接する優し
さ
が
その人の孤立を防ぐ小さな一歩になるはずだ。

その様々な場面では動いている、更生パンヤ
ンのホゴちゃんです。チャイロは胸
の生みるマークです。更生保護のマスコット
キャラクタートとして、法務省保護局の公営
パンフレットなどの資料に登場してきます。
他にも、更生パンヤンのサウザンがいます。
法務省保護局「社会を明るくする運動」の更
生保護イミジキャラクタート。「更ちゃん」
とも表記します。ホアとなるキャラクタートは
更生パンヤンのホゴちゃんです。第七十一回
社会を明るくする運動にアトペンチ。ワーク
ルドのパンヤン達が協力しました。
社会を明るくするとは、決して大きなスロ
ーガンを掲げることではないです。一人ひと
りが身近な人の変化に目を向けて、誰も一人
ぼっちにこせない温かい空気を作ることだ。
私が仲間になれたように、今度は私が誰か
の心の支えになれるように、まずは周りの人
への小さな思いやりから始めて、一度やり直
せる居場所を地域の中に作ることを思う。